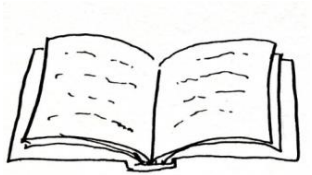


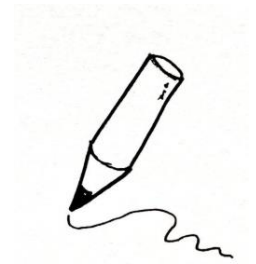
# 小学校での読み書き指導



第4回外国語ワーキンググループ資料

2025年12月1日

田縁真弓(京都光華女子大学)



# 本日の流れ

1. 現行の読み書き指導について ー小学校現場からー
2. これまで取り組んできた指導例
3. まとめ 一次期学習指導要領にむけてー

# 現行学習指導要領「英語の目標」より

## 読むこと

- ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
- イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

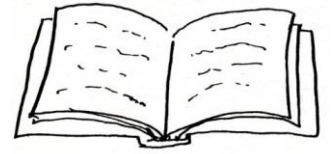
## 書くこと

- ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。
- イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

小学校において、現行の学習指導要領の「読むこと」「書くこと」の指導に難しさを感じている教師が多い。難しさを感じている要因はどこにあるのか

- 個人差が広がるための指導の困難さ
- 何に一番重きを置くべきかがよく分からない
- 小学生に合った指導方法がよく分からない
- 読みの指導では、「英語の目標」の(ア)から(イ)への段階的な指導方法が不明

# 「読むこと」の指導（小学校）



## 目標

ア 活字体で書かれた文字を識別し、**その読み方を発音することができるようにする。**

### もやもやゾーン

現行学習指導要領 外国語 英語の目標(ア)(イ)の間

イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の**意味が分るようにする。**

## 小学生が読み書きにおいて、つまりく要因はどこにあるのか

- 英語の音と文字の関係が日本語とは全く異なり、母語話者でも困り感をもつ子どもが多い。

例) cat ball about cake car village

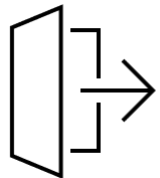


え？全部音が  
違う??

- 気づきを促すための十分な**インプット**や**音遊び**が十分でない。

(指導者が目的を理解する必要がある。歌を歌うだけでは気付かない。)

- 教師も児童も読み書きにおける「ゴール」がはっきりせず、どの順番で学んでいくかがよく分からないので、自ら目標を持たせてそれに向かって学べない。(ひとまず本時で、単元内での目標で考えてしまう。)

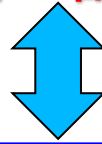


小学校卒業時に何ができればいいでしょう？

- 大文字・小文字の名称を言われたら、その文字を示す（指さす）ことができるし、文字を見たら**名称の読み方**が言える。
  - 大文字・小文字は（**お手本を見なくても**）書ける。
  - 英語の語句や表現を**書き写す**ことが出来る。
  - **簡単な英語の語句や表現は（読めて）意味がわかる。**
  - 自分のことなどは**例文を見て**英語で書くことができる。
- 初見の英文でも簡単なものは読んで意味が分かる。
  - 簡単な英文で気持ちや事実が伝えられる。

中学でのお楽しみ  
ワクワクゾーン

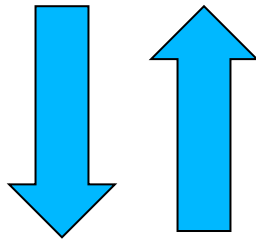
# 聞く指導・話す指導



## 読む指導

### 【読み書きの指導内容例】

- A) ローマンアルファベットを英語用の文字として「名称」が言えて形を認識できる。
- B) その文字が代表する音(音素)がわかる。
- C) 英語の単語が音素で成り立っていることを認識できる。
- D) トップダウン型指導やボトムアップ型指導を通して、簡単な単語を見て認識したり音声化ができる。



## 書く指導

- E) 文字の名称を聞いて大文字小文字が4線上に正しく書ける。
- F) 例えば国の名前などの語句や定型文を(語順を意識し)書写する。

この順番とは限らない  
例えば C)とD) は同時であったり、  
逆もありうる。



# 書くことの指導の留意点

目的を与えて、選択し筆写するというコンテクストを与えると書く意義が生まれる。

筆写は本来の意味での「書くこと(=自分の伝えたいことを書くこと)」と異なる。本当の意味での書くことの指導は、きちんと文構造や単語の規則を教える授業が始まるまで(つまり現行学習指導要領下では中学校期まで)待たねばならない。ここでは、そうした筆写の限界を踏まえつつ、なるだけ、本来の意味での「書く」ことに近づけるようコンテクストを工夫して与えた活動を行う。

単語や文の読み方や意味が分からない状態で写経のように筆写を繰り返しても学びは少ない。

さらに言えば、全員が静かに作業していることが「学んでいる」ことではない。書く作業は新鮮味もあり、教師側の準備も少なくすみ、児童が静かに取り組んでくれるからという理由で、つつい筆写に時間を割きすぎることがないようにすべき。

(湯川笑子 KEET発小学校英語ハンドブック p108)

## イ 読むこと

### ボトムアップ型指導

- (ア) 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを**識別**する活動。
- (イ) 活字体で書かれた文字を見て、その**読み方を適切に発音する活動**。  
アルファベットカード チャートなど

音声言語を中心とした活動・音への気づきを促す活動

### トップダウン型指導

- (ウ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする掲示や**パンフレット**などから、自分が必要とする情報を得る活動。
- (エ) 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、**絵本**などの中から識別する活動。  
絵本やストーリー

小学校→中学校の接続を考えた場合、小学校の読み書きの指導において、改善した方がいい点、もっと重視した方がよいと思う点

- 読み書きの接続時間(のりしろ期)を十分に
- 中1入学時期 音声から意味、文字への橋渡しを
- **短時間指導を活用して**音から文字指導 6年生→中1

大阪市イノベーション事業(2014)

田縁(JASTEC第37回秋季研究大会 2017)

文字指導(書くこと・読むこと)はそこに**意味がない**と楽しくない  
楽しくない活動には個人差が広がる

それを目的・場面・状況を持った活動にするには、ゲーム的な要素(ICT活用やゲーム性)などで興味を持続、または、ストーリーを使っ  
ての「思考させ読む活動」、他技能統合的に取り組ませる

## まとめ

1. 小学校での文字指導はまずは音声からということを再確認。そこに音と文字を結びつけるための日本の小学生にふさわしい音韻認識を取り入れた指導法を考える。
2. 小中の接続のためには、小学校の読むことや書くことの指導内容や指導方法について、中学校の先生方が理解する。また、小学校においては、中学校の読むことや書くことの指導で出来るようになることに対して、期待を抱かせて送り出すことが大切。
3. 引き続き、聞くこと＋読むこと・書くこと、話すこと(やり取り・発表)＋読むこと・書くことの指導を大切にする。読むことや書くことに特化した活動は短時間で繰り返し行う。

## 参考文献

- 小野尚美・田縁眞弓（編著），オーガスティン真智・吉本連（著）.（2022）. *小学校英語とストーリーテリング——絵本の読み聞かせに始まる指導案・活動・評価*. 研究社.
- 禰宜田，陽子・田縁，眞弓・泉，恵美子（2014）「小学校『英語音声指導』の実践——大阪市英語教育重点校の取組より——」『日本児童英語教育学会研究紀要（JASTEC Journal）』第34号，209–228.
- 山本玲子・田縁眞弓（2020）. *小学校英語 だれでもできる英語の音と文字の指導* 三省堂
- 湯川笑子・泉恵美子・田縁眞弓・山本玲子（編著）（2018）*KEET発小学校英語ハンドブック*. ヤシマ印刷
- 文部科学省.（2017）. *小学校学習指導要領（平成29年告示）*「外国語」および「外国語活動」.

## 関連発表

- 田縁眞弓（2017）「短時間学習での担任による音と文字の指導」第37回日本児童英語教育学会
- 田縁眞弓・星原光江（2022）「小学校卒業前に行うトッパダウン文字指導」第42回日本児童英語教育学会
- アレン玉井光江・田縁眞弓（2024）「小学校英語の読むことと書くこと—その指導と評価について—」第24回小学校英語教育学会全国大会
- 湯川笑子・三ツ木由佳・ブライアン西川（2023）「小学校高学年の読む力」第23回小学校英語教育学会全国大会

